

2021 年 12 月 30 日

受益者のみなさま

三菱 UFJ 国際投信株式会社

「三菱 UFJ 資産設計ファンド（分配型） / （バランス型） / （株式重視型）
〈愛称：地球ゴマ〉」の組入ファンド相違のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、みなさまにご愛顧いただいております、弊社「三菱 UFJ 資産設計ファンド〈愛称：地球ゴマ〉」（以下、本ファンド）におきまして、目論見書の記載に則り、本来『為替ヘッジを行わない』ファンドに投資しなければならないにもかかわらず、『為替ヘッジを行う』ファンドへ投資していたことが判明いたしました。

つきましては、本件に係る経緯・対応策等を下記にご案内申し上げますので、ご一読をお願いいたします。

なお、本件に関するご質問等がございましたら、巻末に記載の弊社コールセンターまでお問い合わせください。

みなさまには大変なご迷惑をおかけしますことを、謹んでお詫び申し上げます。

敬具

記

1. 対象ファンド

- ① 三菱 UFJ 資産設計ファンド（分配型）〈愛称：地球ゴマ〉
- ② 三菱 UFJ 資産設計ファンド（バランス型）〈愛称：地球ゴマ〉
- ③ 三菱 UFJ 資産設計ファンド（株式重視型）〈愛称：地球ゴマ〉

2. 発生事象・経緯等

本ファンドは、目論見書において『原則*として為替ヘッジを行わない』と定めております。三菱アセット・ブレインズ株式会社（以下、助言元）の助言を受け、2021 年 10 月 15 日以降、「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を組み入れておりましたが、当該ファンドは目論見書の記載と異なる『為替ヘッジを行う』ファンドであり、この組み入れは誤った投資行動であることが判明しました。

*「原則」に従わない例として、市況動向や資金動向などにより、『為替ヘッジを行わない』ファンドの組み入れができない事態に際し、受益者さまの資産の保護を図るため、予めその必然性や有効性を検討・確認した場合などが挙げられます。

なお、2021 年 10 月 15 日時点での、各ファンドにおける「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の組入比率は以下の通りです。

分配型	バランス型	株式重視型
14.6%	4.8%	4.8%

※比率は純資産総額に対する比率です。

3. 受益者さまへのご返金等について

本件組入ファンドの相違が判明した後、取り急ぎの対応として代替ファンドへの入れ替え、当該組入ファンドの売却・現金化を検討しましたが、適切な投資先の選定が難しいことや本ファンドの収益性確保の観点から、「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」への投資を継続しています。

そのため、本来の投資対象である『為替ヘッジを行わない』ファンドを組み入れていた場合と比べ、円安の局面では基準価額が低く、円高の局面では基準価額が高く算出されている可能性がございます。

現在確認中ですが、2021 年 10 月 15 日以降 2021 年 12 月 30 日までに本ファンドの換金・購入のお申込みをされた受益者さまのうち、「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」において為替ヘッジを行わなかった場合の基準価額と比較して、低い価額で換金もしくは高い価額で購入を行った*と算定される方に、差額を返金いたします。

*購入には収益分配金の再投資によるものも含まれます。

ご返金が発生する受益者さまには、販売会社より、後日ご返金方法等についてご連絡させていただきます。

また、本件組入ファンドの相違により本ファンドに欠損額が発生していると認められる場合には、2022 年 1 月 4 日に本ファンドの純資産への補填を行い、返金対象外の部分でも受益者のみなさまが不利益を被らないように対応いたします。

4. 本件組入ファンド相違に係る今後の対応について

本件組入ファンドの相違が判明した後、弊社および助言元において下記の通り、今後の運用に関する対応を検討しました。

- ① ハイイールド債券を主要投資対象とし、『為替ヘッジを行わない』ファンドへの投資を検討しましたが、残念ながら条件に見合うファンドを選定することができませんでした。
- ② 「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を売却し現金化することを検討しましたが、その場合ハイイールド債券が持つ信用リスクに伴う上乗せ金利等からの収益機会を失うことになります。
- ③ 本ファンドのインカム収入の観点からも、低金利の投資環境が続く中、ハイイールド債券の持つ信用リスクに伴う上乗せ金利は貴重なインカム収益源となっています。安定し

たインカム収入確保の観点からもハイイールド債券への投資継続の意味が大きいと考えました。

- ④ 『為替ヘッジを行わない』ハイイールド債券を『為替ヘッジを行う』ハイイールド債券に入れ替えても、本ファンド全体としてのリスク特性は大きく変わらないと判断しています。
- ⑤ 以上を鑑み、本ファンドが持つ幅広い投資対象に分散投資を行う商品性については、一部を『為替ヘッジを行う』ファンドに投資しても維持されると考えました。

これらを踏まえて中長期的な目線で改めて検討した結果、本ファンドでは、『為替ヘッジを行わない』ファンドを投資先ファンドとして選定することを基本としつつも、『為替ヘッジを行わない』ファンドで適切なファンドが存在しない場合には、『為替ヘッジを行う』ファンドの中から適切なファンドを選定して投資することができるよう変更することが妥当と考え、投資可能なファンドをより明確化させるため、目論見書の該当箇所を以下5.の通り変更いたします。

また、これに伴い、現在組み入れている「ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」への投資を継続しますが、引き続きハイイールド債券を主要投資対象とし、『為替ヘッジを行わない』ファンドへの投資機会の調査は継続します。

5. 交付目論見書の重要な事項の変更

上記検討を踏まえ、2022年1月7日付で、「ファンドの特色1」に枠内の文言を追加いたします。本件組入ファンドの相違への対応に係る交付目論見書の重要な事項の変更については、「別紙」にまとめておりますので、ご確認ください。

- 実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

ただし、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在しない場合には、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資することがあります。
その場合、当該投資信託証券における組入外貨建資産については為替相場の変動による影響が低減されるため、ファンド全体では為替相場の変動の影響が小さくなります。

受益者のみなさまに大変なご迷惑とご心配をおかけしたことにつきまして、改めて深くお詫び申し上げますと共に、斯かる問題を二度と起こさないよう、再発防止に尽力いたします。

以上

・本お知らせに関するお問い合わせ

三菱 UFJ 国際投信 お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034**

【受付時間／9：00～17：00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）】

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

	変更前	変更後																																																												
商品分類 属性区分 表紙	<table><tr><th rowspan="2">ファンド</th><th colspan="3">商品分類</th><th colspan="5">属性区分</th></tr><tr><th>単位型・追加型</th><th>投資対象地域</th><th>投資対象資産 (収益の源泉)</th><th>投資対象資産</th><th>決算頻度</th><th>投資対象地域</th><th>投資形態</th><th>為替ヘッジ</th></tr><tr><td>分配型</td><td rowspan="3">追加型</td><td rowspan="3">内外</td><td rowspan="3">資産複合</td><td rowspan="3">その他資産</td><td>年6回(隔月)</td><td rowspan="3">グローバル (日本を含む)</td><td rowspan="3">ファンド・オブ・ファンズ</td><td rowspan="3">なし</td></tr><tr><td>バランス型</td><td>年4回</td></tr><tr><td>株式重視型</td><td>年2回</td></tr></table> ※属性区分の「投資対象資産」に記載されている「その他資産」とは、投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、通貨))です。 ※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。 ※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(http://www.toushin.or.jp/)をご覧ください。	ファンド	商品分類			属性区分					単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	分配型	追加型	内外	資産複合	その他資産	年6回(隔月)	グローバル (日本を含む)	ファンド・オブ・ファンズ	なし	バランス型	年4回	株式重視型	年2回	<table><tr><th rowspan="2">ファンド</th><th colspan="3">商品分類</th><th colspan="5">属性区分</th></tr><tr><th>単位型・追加型</th><th>投資対象地域</th><th>投資対象資産 (収益の源泉)</th><th>投資対象資産</th><th>決算頻度</th><th>投資対象地域</th><th>投資形態</th><th>為替ヘッジ</th></tr><tr><td>分配型</td><td rowspan="3">追加型</td><td rowspan="3">内外</td><td rowspan="3">資産複合</td><td rowspan="3">その他資産</td><td>年6回(隔月)</td><td rowspan="3">グローバル (日本を含む)</td><td rowspan="3">ファンド・オブ・ファンズ</td><td rowspan="3">なし</td></tr><tr><td>バランス型</td><td>年4回</td></tr><tr><td>株式重視型</td><td>年2回</td></tr></table> ※属性区分の「投資対象資産」に記載されている「その他資産」とは、投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、通貨))です。 ※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いませんが、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在しない場合には、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資することがあります。 ※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(https://www.toushin.or.jp/)をご覧ください。	ファンド	商品分類			属性区分					単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	分配型	追加型	内外	資産複合	その他資産	年6回(隔月)	グローバル (日本を含む)	ファンド・オブ・ファンズ	なし	バランス型	年4回	株式重視型	年2回
ファンド	商品分類			属性区分																																																										
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ																																																						
分配型	追加型	内外	資産複合	その他資産	年6回(隔月)	グローバル (日本を含む)	ファンド・オブ・ファンズ	なし																																																						
バランス型					年4回																																																									
株式重視型					年2回																																																									
ファンド	商品分類			属性区分																																																										
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ																																																						
分配型	追加型	内外	資産複合	その他資産	年6回(隔月)	グローバル (日本を含む)	ファンド・オブ・ファンズ	なし																																																						
バランス型					年4回																																																									
株式重視型					年2回																																																									
特色 1 現行 P 1	ファンドの特色 特色 1 世界の株式・債券といった伝統的資産のみならず、不動産投資信託・絶対収益追求型運用といったオルタナティブ資産を加えた幅広い投資対象に分散投資します。 ● 各資産内においては、株式・債券では地域・種別毎に7つの資産クラス、オルタナティブ資産では不動産投資信託(REIT)および絶対収益追求型運用の2つの資産クラスとした合計9つの資産クラスに分けてそれぞれ投資を行います。 ● 実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。 📖 債券とは、国債、政府機関債、国際機関債、地方債、社債ならびにハイイールド債券(格付会社によりBB格相当以下の低い格付けを付与された社債)などをいいます。 📌 投資対象とする資産クラスおよび投資比率は、ファンドによって異なります。	ファンドの特色 特色 1 世界の株式・債券といった伝統的資産のみならず、不動産投資信託・絶対収益追求型運用といったオルタナティブ資産を加えた幅広い投資対象に分散投資します。 ● 各資産内においては、株式・債券では地域・種別毎に7つの資産クラス、オルタナティブ資産では不動産投資信託(REIT)および絶対収益追求型運用の2つの資産クラスとした合計9つの資産クラスに分けてそれぞれ投資を行います。 ● 実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。 ただし、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在しない場合には、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資することがあります。 その場合、当該投資信託証券における組入外貨建資産については為替相場の変動による影響が低減されるため、ファンド全体では為替相場の変動の影響が小さくなります。 📖 債券とは、国債、政府機関債、国際機関債、地方債、社債ならびにハイイールド債券(格付会社によりBB格相当以下の低い格付けを付与された社債)などをいいます。 📌 投資対象とする資産クラスおよび投資比率は、ファンドによって異なります。																																																												

特色 3 現行 P 4	特色3 投資信託の調査・評価の専門会社である三菱アセット・ブレインズ株式会社から助言を受け、各資産クラスについて厳選した投資信託証券(ファンド)を組み入れます。 ● 同一資産クラス内の投資信託証券への投資にあたっては、運用特性の分析により複数の投資信託証券を組み合わせる分散投資を行うことがあり、組入比率については、三菱アセット・ブレインズ株式会社からの助言に基づき決定します。また、投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。 <投資対象とする投資信託証券(指定投資信託証券)> <table><tr><th>資産</th><th>資産クラス</th><th>投資対象とする投資信託証券</th></tr><tr><td rowspan="3">株式</td><td>日本株式</td><td>三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>海外株式</td><td>MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>エマージング株式</td><td>シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td rowspan="4">債券</td><td>日本債券</td><td>三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>海外債券</td><td>グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>エマージング債券</td><td>アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>ハイイールド債券</td><td>インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ファンド F (適格機関投資家専用)* ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド</td></tr><tr><td rowspan="2">オルタナティブ資産</td><td>不動産投資信託</td><td>MUAM J-REITマザーファンド MUAM G-REITマザーファンド</td></tr><tr><td>絶対収益追求型運用</td><td>グローバル・アセット・モデル・ファンドF (適格機関投資家専用)</td></tr></table> ! 「資産クラス」は、各投資信託証券の主要投資対象もしくは運用手法です。 ! 上図は投資対象とする投資信託証券の一覧です。今後変更となる場合があります。 上図に掲げるすべての投資信託証券に投資を行うとは限りません。 ※投資対象とする投資信託証券の償還に伴い、2021年11月16日に投資対象から除外する予定です。	資産	資産クラス	投資対象とする投資信託証券	株式	日本株式	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)	海外株式	MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)	エマージング株式	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)	債券	日本債券	三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)	海外債券	グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)	エマージング債券	アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)	ハイイールド債券	インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ファンド F (適格機関投資家専用)* ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド	オルタナティブ資産	不動産投資信託	MUAM J-REITマザーファンド MUAM G-REITマザーファンド	絶対収益追求型運用	グローバル・アセット・モデル・ファンドF (適格機関投資家専用)	特色3 投資信託の調査・評価の専門会社である三菱アセット・ブレインズ株式会社から助言を受け、各資産クラスについて厳選した投資信託証券(ファンド)を組み入れます。 ● 同一資産クラス内の投資信託証券への投資にあたっては、運用特性の分析により複数の投資信託証券を組み合わせる分散投資を行うことがあり、組入比率については、三菱アセット・ブレインズ株式会社からの助言に基づき決定します。また、投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。 <投資対象とする投資信託証券(指定投資信託証券)> <table><tr><th>資産</th><th>資産クラス</th><th>投資対象とする投資信託証券</th></tr><tr><td rowspan="3">株式</td><td>日本株式</td><td>三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>海外株式</td><td>MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>エマージング株式</td><td>シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td rowspan="4">債券</td><td>日本債券</td><td>三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>海外債券</td><td>グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>エマージング債券</td><td>アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)</td></tr><tr><td>ハイイールド債券</td><td>ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド*</td></tr></table>	資産	資産クラス	投資対象とする投資信託証券	株式	日本株式	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)	海外株式	MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)	エマージング株式	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)	債券	日本債券	三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)	海外債券	グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)	エマージング債券	アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)	ハイイールド債券	ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド*
資産	資産クラス	投資対象とする投資信託証券																																											
株式	日本株式	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)																																											
	海外株式	MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)																																											
	エマージング株式	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)																																											
債券	日本債券	三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)																																											
	海外債券	グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)																																											
	エマージング債券	アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)																																											
	ハイイールド債券	インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ファンド F (適格機関投資家専用)* ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド																																											
オルタナティブ資産	不動産投資信託	MUAM J-REITマザーファンド MUAM G-REITマザーファンド																																											
	絶対収益追求型運用	グローバル・アセット・モデル・ファンドF (適格機関投資家専用)																																											
資産	資産クラス	投資対象とする投資信託証券																																											
株式	日本株式	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF (適格機関投資家限定) ストラテジック・バリュー・オープンF (適格機関投資家専用) GIMザ・ジャパン (適格機関投資家専用)																																											
	海外株式	MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)																																											
	エマージング株式	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用) GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)																																											
債券	日本債券	三菱UFJ 日本債券ファンドF (適格機関投資家限定) ノムラ日本債券オープンF (適格機関投資家専用)																																											
	海外債券	グローバル債券コア・ファンド (適格機関投資家専用)																																											
	エマージング債券	アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)																																											
	ハイイールド債券	ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド*																																											
オルタナティブ資産	不動産投資信託	MUAM J-REITマザーファンド MUAM G-REITマザーファンド																																											
	絶対収益追求型運用	グローバル・アセット・モデル・ファンドF (適格機関投資家専用)																																											

*為替ヘッジを行う投資信託証券です。

! 「資産クラス」は、各投資信託証券の主要投資対象もしくは運用手法です。

! 上図は投資対象とする投資信託証券の一覧です。今後変更となる場合があります。
上図に掲げるすべての投資信託証券に投資を行うとは限りません。

| ■投資対象とする投資信託証券 現行 P 9 | <ハイイールド債券> | | | |--------|--| | ファンド名 | ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド | | ベンチマーク | ICE BofA ノンフィナンシャル・デベロップド・マーケット・ハイイールド・コンストレインド・インデックス(円ベース) | | 委託会社 | ベアリングス・アセット・マネジメント・リミテッド | | <ハイイールド債券> | | | |--------|--| | ファンド名 | ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド | | ベンチマーク | ICE BofA ノンフィナンシャル・デベロップド・マーケット・ハイイールド・コンストレインド・インデックス(円ベース) | | 委託会社 | ベアリングス・アセット・マネジメント・リミテッド | *為替ヘッジを行う投資信託証券です。 |
| 投資 リスク 現行 P 11 | 為替変動 リスク 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。 | 為替変動 リスク 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。 ただし、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在せず、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資する場合には、当該投資信託証券における組入外貨建資産について為替相場の変動による影響が低減されるため、ファンド全体では為替相場の変動の影響が小さくなります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。 |